



JAとうかつ中央管内の、松戸市・鎌ヶ谷市・流山市には、地域農業の担い手である農家が各地で活躍しています。その農産物をぜひ手に取って、ご賞味ください。



<鵜殿シトラスファーム>
松戸市横須賀
うどの としひろ
鵜殿 敏弘さん(68歳)



環境変化に対応し“力強い農業”を目指す 「新松戸レモン」で地域振興を

27年前、運営していた園芸店で売れ残った3本の鉢植えを地植えしたことが、レモン作りのきっかけです。そこから、千葉県産の風土に合わせた育て方を研究してきました。地産地消となり、お客様に受け入れられる作物を作りたいと模索する中、11年前から本格的にレモン作りを始めました。品種は、マイヤー・璃の香(りのか)、ライム・キンカンライムなども販売。家族農業で、6人程で営んでいます。市内5箇所のほ場(経営面積50アール)に、400本のレモンの木があり、年間約7トン収穫します。販売は、主に直売所 MONPE(もんぺ)。その他イベント、マルシェなど。地元日本料理店、洋菓子店でも扱ってもらい、取引先を拡大中です。直売所は、3年

前に、JR新松戸駅から徒歩12分程の場所に開きました。

例年9月中旬頃から開店し、今年は好評でそろそろ終盤です。近況は、SNS(インスタグラム)で告知しています。

当農園の柑橘商品の特徴は、外国産のほとんどに使用される防カビ剤などの農薬が不使用のため、香りの成分が多く含まれる皮まで安心して食べられることです。

これからもより多くの方に松戸のレモンの美味しさを味わって欲しいです。



<恩田いちご園>
松戸市新松戸南
おんだ やすひろ
恩田 泰裕さん(28歳)



代々受け継いだサービス精神を大切に 「完熟松戸の苺」はこれらが“旬”

1年半のアメリカへの農業研修プログラムへの参加後に就農。家業を継いで4年目です。松戸市特産の「あじさいねぎ」や「いちご」などを作っています。作業は3人程の家族農業です。いちごは、経営面積10アールのハウスで、土耕栽培しています。当いちご園は、女峰を販売。女峰は、酸味と甘みのバランスの良い品種です。果肉がしっかりとっていて、生食以外でも、ジャムなどの加工品にも適しています。やや小ぶりで形が整っているので、食べやすいいちごです。直売所では、その日の朝、完熟したいちごを収穫し販売しています。販売方法は主に直売所。例年1月上旬から6月頃までオープン。インターネット受付もあります。また、地元洋菓子店で扱っていただけるようになり、取引先も増えてきました。場所は、新松戸南公園から徒歩

7分ほどの場所にあります。公式ウェブサイトやSNSもあり、農園情報を発信しています。お気軽にフォロー・メールください。

毎年たくさんのお客様にご来店いただき、嬉しい限りです。今シーズンの生育は順調です。甘くて、ジューシーないちごをご用意しております。お取り置きも可能です。ご注文をお待ちしております。



これからの地域農業を担う、若き担い手たち

4Hクラブは、農業青年クラブのことです。4Hクラブは、将来の地域農業を支える20代から30代の若手農家が中心となって、全国的に組織されています。

農業経営の改善や技術の向上のための学習、消費者に対する農業・農産物のピーアールをしたり、会員間が交流を通して経験を積み、仲間と協力して地域農業の発展を目指して活動しています。

JAとうかつ中央の管内である、松戸市・鎌ヶ谷市・流山市にもクラブが組織され、まつど大農業まつりや、鎌ヶ谷市の農業まつり、流山農業まつりへ出店するなど、地場農産物の販売を通じた消費者との交流を行っています。



「4Hクラブ」を知っていますか?



4Hの、Hは(Hand:技術)・(Head:頭脳)・(Heart:心)・(Health:健康)の4つのHで、クラブの4つの信条の頭文字を総称したものです。(Hand:技術)は、メンバーが農業の改良と生活の改善に役立つ腕を磨くこと、(Head:頭脳)は、科学的に物ごとをとらえることができる頭の訓練をすること、(Heart:心)は、誠実で友情にむとむ心を培うこと、(Health:健康)は、楽しく暮らし、元気で働くための健康を増進することを意味しています。

松戸4Hクラブ ロゴ



<松戸4Hクラブ>
「和修園」松戸市和名ヶ谷
かわかみ しゅうへい
川上 修平さん(32歳)

就農7年目。妻・両親、パート従業員と野菜、果物など年間20品目程度を作る。経営面積約3ヘクタール。販路は、小売店など。



<鎌ヶ谷4Hクラブ>
「三四郎園」鎌ヶ谷市中沢
いいた ひろき
飯田 裕樹さん(31歳)

就農9年目。経営面積約1.2ヘクタール。梨(幸水・豊水・かおり・新高など)を、両親と直売所販売する。



<流山4Hクラブ>
「森田農園」流山市名都借
もりた あきら
森田 昌さん(29歳)

就農4年目。経営面積約1.2ヘクタール。母・祖父母、パート従業員と、野菜など年間80品目程度を作る。販路は、直売所・マルシェ・小売店など。ホームページ販売も行う。

4Hクラブは、生産者の憩いの場、互いの思いを話す場・聞く場
松戸4Hクラブは、クラブ員と一緒に作業する畑で、サツマイモを作付け、地元の子供会の収穫体験を受け入れています。地元大学祭やまつど大農業まつりなどイベントにも出店してきました。クラブのピーアールをするためロゴを作り、はっぴなどに印字し今後活用していきます。また、農業学習のため、展示会や種苗会社視察なども企画・実践しています。先輩方から受け継いだこの4H活動を継続し、絶やさないように活動したいです。

同世代との「つながり」が持てるメリットがある
鎌ヶ谷4Hクラブは、市で開催する梨と野菜の共進会の販売補助活動をしています。共同の畑で落花生を作り、市の農業まつりで販売し地域の消費者の皆様と交流をしています。これから新規メンバーを増やし、地域農業を盛り上げていきたいと思ひます。

社会人としての責任感や上下関係を学べる場
流山4Hクラブは、保育園・幼稚園児への芋掘り体験を受け入れています。また、地元のイベントの市民祭りやマルシェ、流山農業まつりへの出店も行いました。これからも、勉強会で新しい経営方法を学び、各自が栽培技術の向上に励んでいきたいと思ひます。

“地元の旬の味覚”をどうぞ!! 40名様へ「矢切ねぎ」プレゼント

抽選で、ご当選された40名様に、JAとうかつ中央管内特産で、地域団体商標を取得している**矢切ねぎ1箱**をお送りします。(泥ねぎ葉付、約7kg)



(写真はイメージです。)

- 官製はがきにて――
- ▲郵便番号、住所、氏名(ふりがな)、年齢、電話番号、職業と、本紙をご覧になったご感想とJAとうかつ中央へのご意見をお書きください。
 - ▲応募先 〒271-8620(私書箱) JAとうかつ中央「ふれあい」プレゼント係
 - ▲応募の締切 2022年1月7日(金)(当日消印有効)

※郵便料金の過不足にご注意ください。
ご当選の発表は、賞品の発送をもって代えさせていただきます。お寄せいただいた個人情報、本抽選のみに利用するものであり、他の目的には利用いたしません。



「国消国産」サイト



進めよう! 広めよう! 「国消国産」を――

JAグループでは、国民が必要として消費する食料は、できるだけその国で生産するという**国消国産(こくしょうこくさん)**という考え方で、食や農、協同組合に関する様々な取り組みを行っています。

「国消国産」の考え方やそれに基づく取り組みは、SDGs(エス・ディー・ジーズ:持続可能な開発目標)の達成にもつながるものです。

◎みんなの良い食プロジェクト

「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」



JAグループでは、「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」の目標を実現するため、様々な事業の改革(JA自己改革)に挑戦しています。最近の、当JAの改革実践状況を紹介します。

「フードドライブ」を推進 食品ロス削減に貢献

地域貢献活動の一環として、9月24日本店と各支店で、家庭などで保管している食品を集め、必要としている人や団体に無償で届ける「フードドライブ」を行いました。回収した地域の農産物などは、千葉県東葛飾地区の子ども食堂のネットワーク「とうかつ草の根フードバンク」へ寄付しました。

農工商連携で新商品誕生 鎌ヶ谷梨カレー、ジャムを公認

鎌ヶ谷市の認知度の向上と、地域経済の活性化を図るため、企業組合鎌ヶ谷ブランド館は7月16日、鎌ヶ谷プレミアム梨カレー(中辛)とかまたんのごろごろ梨ジャムの販売を開始しました。カレー、ジャム共に当JA公認の商品です。当JAは今後も、特産農産物の振興のため地元企業などとの連携を進めていきます。



「まつどの梨」を出張販売

8月27日、アトレ松戸で「まつどの梨」出張販売イベントを開きました。旬を迎えた豊水などの梨を袋入り(1キロ)で販売しました。当JAの役員と職員は店頭に立ち、「みずみずしく、果汁たっぷりの梨はいかがですか」と呼びかけました。当JAはこれからも、特産農産物の販売拡大に向けたイベントを開催していきます。



直売所を運営する生産者へ 消毒液を配布

8月19日、農産物直売所における新型コロナウイルス対策に役立ててもらおうと、当JAの秋元篤司経営管理委員会会長と小倉忠勝代表理事理事長は、松戸市観光梨園組合連合会の高橋治会長と松戸市梨研究会の渡来一弘会長へアルコール手指消毒液を贈りました。当JAは、消毒液600本を準備し、農産物直売所を開設する生産者へ配布しました。